

科目名	地域防災学 Regional Disaster Prevention			担当教員	向谷 光彦		
学年	5年	学期	後期	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	14134034	単位区分	履修単位
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自助、共助、公助の観点から、大規模災害発生前において復旧・復興の準備をどの程度行う必要があるのか、明確にする。</li> <li>・高等教育機関として復興の中核的人材育成への基礎知識、基本理念を修得する。</li> <li>・地域に根ざした身近な話題を導入部として、学生が主体的に活動することを目標とする。</li> </ul>						
進め方	授業内容は必要最小限の項目にとどめる。授業内容の理解を助けたり深めたりするために必要に応じて演習や平常テストを実施し、その理解度・習得度を確認しながら授業を進め、全員が授業内容を理解できるよう配慮する。15週のうち、外部講師による講義等を3～5回実施する。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. はじめに(0.5) (本科目の位置付け、授業内容と成績評価方法)			①地域防災における自助の基礎知識が説明できる。 (B-2)「土木工学の基礎知識」			
	2. 自助(8.5) (1)コミュニケーショントレーニング (2)リーダーシップ (3)ため池防災 (4)1.17から3.11地震の実際 (5)建築紛争と法地盤工学 *非常勤外部講師の講話を1～2回予定						
	3. 共助(9) (1)グループワーク (2)避難所とボランティア活動 (3)仲間づくり			②地域防災における共助の基礎知識が説明できる。 (B-2)「土木工学の基礎知識」			
	[後期中間試験](2)			③地域防災における公助の基礎知識が説明できる。 (B-2)「土木工学の基礎知識」			
	(4)組織マネジメント (5)PCa二次製品を用いた防災設備 *非常勤外部講師の講話を1～2回予定						
4. 公助(10) (1)ICTと危機管理 (2)防災教育 (3)災害カウンセリング (4)地域コミュニティ再生 (5)メディア情報 (6)石炭灰を利用した防災対策 *非常勤外部講師の講話を1～2回予定							
後期末試験							
試験返却(0.5)							
評価方法	・学習到達目標の①～③を同じ重み(それぞれ30～40%程度)とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	<u>土の力学</u> 、 <u>構力Ⅱ</u> 、 <u>水理(4年)</u> → <u>防災工学基礎(4年)</u> → <u>地域防災学(5年)</u> → <u>地域環境学</u> 、 <u>地域整備学(5年)</u> → <u>環境防災工学Ⅰ,Ⅱ(AS1&amp;2)</u>					*囲み線の形状は 関連度の強さを表す。	
教材	参考書：石井一郎ら著 防災工学 森北出版、 (社)地盤工学会編 土は襲う～地盤災害～、福江正治ら著 地盤地質学 コロナ社						
備考	<b>※再試験は実施しない。</b> 教員室・専攻科棟5F、メール；mitsu@t.kagawa-nct.ac.jp、電話；087-869-3921						